

畜産ネットワーク ちば

2022年5月20日

第54号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会

〒260-0021

千葉市中央区新宿1-2-3

K&T 千葉ビル3階

発行人 森 英介

就任にあたってのあいさつ



千葉県農林水産部
畜産課長 大澤 浩司

畜産協会の会員及び畜産
関係の皆様には、日頃から

本県畜産の振興に御理解・御協力を賜り厚くお
礼申し上げます。

また、昨年12月から県内で発生した高病原性
鳥インフルエンザの防疫対応におきましては、
関係する皆様に多大なる御協力をいただき、2月
18日午前0時をもって全ての移動制限を解除
することができましたことに、重ねてお礼申し
上げます。

さて、本県の畜産産出額は令和2年に1,194
億円と、全国第7位に位置し、農業産出額の約
3割を占める重要な部門となっております。

しかしながら、畜産を取り巻く情勢は、台風
や大雨などの相次ぐ自然災害、経営戸数・飼養
頭数の減少、海外情勢の影響による生産コスト
の高止まり、国際化の急速な進展による影響等
が懸念されるなど、生産基盤の強化が課題とな
っているところです。

26年ぶりに国内で発生した豚熱は群馬県や
栃木県にまで広がりを見せており、令和3年12
月には本県においても県外発生農場の疫学調査
により疑似患畜となった豚に係る防疫措置を行
いました。

また、令和2年度に続いて2年連続の発生と
なった高病原性鳥インフルエンザなど、家畜伝
染病の対策がより一層重要視されているところ
です。

このような中、県では、千葉県農林水産業振
興計画（計画年度：令和4～令和7年度）に基
づき、多様な畜産経営の実現に取り組むことと
しており、令和4年度は主に次の施策を推進し
てまいります。

- ・労働負担の軽減、及び飼養管理・繁殖管理の
効率化を促進するため、スマート技術の導入・
普及を推進します。
- ・畜産農家と周辺地域の畜産関係団体等が連携
した畜産クラスターの構築を図り、畜産経営
の収益性を地域全体で向上させる取組を推進
します。
- ・畜産堆肥の有効利用を促進するため、耕種農家
と畜産農家とのマッチングを支援するととも
に、広域流通の取組を推進します。
- ・自給飼料の生産・利用拡大を推進するため、
水田等を活用した飼料生産や二期作・二毛作
による収量増加の取組を支援します。
- ・関係団体等と連携して県産畜産物のPR活動
により販売向上を図ります。また、効果的な
情報発信により県産畜産物の販路を開拓する
とともに、消費者の購入機会を拡大します。
- ・豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の急性悪性
家畜伝染病の発生リスクが年々高まっている
ことから、発生予防及びまん延防止のため、
畜産農家の分布にあわせた家畜保健衛生所の
再編整備を含む防疫体制強化を図ります。

これらの県施策の推進につきまして、今後と
も御理解と御協力を賜りますようお願いいたし
ます。

最後になりますが、会員及び関係者の皆様、
並びに本県畜産の益々の御発展を祈念申し上げ
まして、就任の挨拶とさせていただきます。

令和3年度 臨時・通常理事会の開催

令和3年度第3回臨時理事会及び第2回通常理事会について下記のとおり開催いたしました。

(総務・企画部 武田)

令和3年度 第3回臨時理事会（令和3年12月23日開催）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議により、令和3年度第3回臨時理事会が開催され、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度）に係る次期業務対象年間への移行について（積立金管理者の指定承認）、原案どおり承認されました。

令和3年度 第2回通常理事会（令和4年3月14日開催）

ブラザ菜の花において、森会長出席のもと令和3年度第2回通常理事会が開催され、令和4年度事業計画案及び収支予算案をはじめ全5議案が原案どおり承認されました。

令和に入って3年目となった昨年も、市民生活や畜産業界において感染症に大きく影響を受けた年となりました。

新型コロナウイルス感染症については、緊急事態宣言等の制限措置が度々繰り返され、経済活動が大きく停滞しました。

このような中、養鶏業界では高病原性鳥インフルエンザ発生があり、養豚業界では、県外でワクチンブレイクによる豚熱の発生があるなど、伝染病の発生防止が経営上の課題となってきました。

また、酪農においては、生乳消費が落ち込む中、生乳廃棄の危機が危惧される時期があり、飼料価格も高騰するなど、肉用牛農家とともに経営は依然として厳しい状況となっています。

一方で、本県では豚肉価格は安定的に推移し、牛肉価格も回復するなど、令和4年度のスタートに当たり明るい兆しも見えています。

新年度において当協会では、コロナ対策に機動的に対応しながら、安全・安心な畜産物を生産・流通させる体制づくりのため事業を実施していきます。

酪農生産においては、昨年一部休止していた牛伝染性リンパ腫やBVDの清浄化対策や生産技術の指導のためコンサルタント派遣などの事業を引き続き実施します。

肉牛生産に関しては、「肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）」などの的確な運営に努めるとともに、事務局であるチバザビーフ協議会を中心に共励会の開催等により県産牛肉のアピールに努めていきます。

特に、本年は鹿児島県で開催される「全国和牛能力共進会」に、千葉県として25年ぶりに出場することとなっており、これを機会に、さらなる和牛のブランド力の向上を図っていきます。

養豚生産においては、養豚経営安定交付金などの制度を着実に実施するとともに農場HACCP制度や協会単独で開始した「生産農場衛生対策緊急強化事業」の実施を通じて農場衛生水準の向上に努めていきます。

畜種全般においては、一昨年よりWEB開催へ変更している千葉県畜産フェアや各種イベント、研修会などについても例年どおりの開催を目指します。

こうした各種事業を効率的、効果的に進めることで、生産者等との連携強化を進め、生産者の要望や意見等の集約を図り、関係機関等への発信に努めます。

さらに、緊急的な課題や当協会独自の事業についても積極的に取り組み、様々な場面で関係者の信頼確保に努めてまいります。

令和4年度畜産協会事業推進体制

以下の体制で事業推進を図ります。よろしくお願いいたします。（総務・企画部 武田）

◎理事会

会長理事	（非常勤）	森 英介
副会長理事	（非常勤）	4名
理事	（非常勤）	9名
専務理事	（常勤）	岡田 望

◎委員会

◆家畜衛生業務評議委員会

◆養豚振興委員会

◎事務局

総務・企画部 次長 武田 善秀			事業部 部長 富田 耕太郎		
総務課	課長（次長兼務）	武田 善秀	経営・環境課	課長（部長兼務）	富田 耕太郎
	調査役	槌屋 健太郎		主査	小倉 崇司
	臨時職員	藤代 直子		嘱託職員	薫田 耕平
	臨時職員	山中 美穂		嘱託職員	福島 達哉
企画課	課長（次長兼務）	武田 善秀	衛生指導課	課長（専務理事兼務）	岡田 望
	主任技師	飯沼 大輝		臨時職員	高橋 早苗
	臨時職員	瀧口 麻美	生産課	課長	金杉 文一
	臨時職員	胡口 常代		嘱託職員	加藤 脩三
				臨時職員	高橋 真理
				臨時職員（ナイスポーク）	原澤 文恵

◆新規職員紹介

【事業部 部長 富田 耕太郎】

この度、ご縁あって本協会に勤務させていただくこととなりました富田耕太郎でございます。
令和4年3月までは県職員として畜産関係機関である畜産総合研究センター、畜産課、農業事務所などに38年間勤務してまいりました。住居は茂原市で神社の氏子や寺の檀家でもあり休日はわずかな農地の耕作にいそしんでいます。若い頃は青少年相談員や消防団などに参加し地元根付いております。これらの活動や県職員としての経験を生かし、協会の事業を円滑に推進すべく一層精進し、尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

◎畜産団体事務局

★千葉県畜産物消費拡大推進協議会 【担当者】経営・環境課 小倉	★千葉県養蜂協会 【担当者】総務課 槌屋
★千葉県馬事畜産振興協議会 【担当者】企画課 飯沼	★ナイスポークチバ推進協議会 【担当者】生産課 加藤
★千葉県自家検定推進協議会 【担当者】生産課 金杉	★ちば畜産レディースネットワーク 【担当者】総務課 槌屋
★チバザビーフ協議会 【担当者】経営・環境課 小倉	★チバザポーク販売推進協議会 【担当者】生産課 金杉
★NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター 【担当者】経営・環境課 薫田	

瞳は未来を見つめる。

動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売
日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

令和４年度 千葉県畜産関係機関一覧表①

■農林水産部

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1

TEL	職名	氏名
043-222-2800	部長	館野 昭彦
043-223-2801	生産流通戦略担当部長	越川 浩樹
043-223-2803	次長	染井 建夫
043-223-2804	次長	崎山 一
043-223-2805	次長	小島 光

■畜産課

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
FAX: 043-222-3098

部署・TEL	職名	氏名
043-223-2931	課長	大澤 浩司
043-223-2929	副課長(事)	森本 茂明
043-223-2930	副課長(技)	菊地 里佳
企画経営室 043-223-2926 043-223-2927 043-223-2777 043-223-2921	主幹兼室長	山崎 直
	主幹	藤野 晴彦
	主査	寺尾 寧子
	副主査	永瀧 正人
	副主査	藤田 圭佑
	副主査	関谷 圭美
	副主査	宇田川 拓二
	副主査	小池 広明
生産振興班 043-223-2939	技師	能瀬 祥吾
	技師	谷川 光
	主事	藤原 健史郎
	班長	丸山 武則
	主査	田仲 景士郎
環境飼料班 043-223-2943 043-223-2944	主査	野中 太輔
	副主査	竹尾 駿
	技師	野口 航平
	班長	渡辺 聡
家畜衛生対策室 043-223-2923 043-223-2938 BSE 対策本部 043-223-3084	主査	沼尾 真人
	副主査	佐野 実乃里
	技師	南村 昌孝
	副技監兼室長	島田 純
	主幹	笠井 史子
	副主幹	吉田 喜一郎
	主査	猪熊 道仁
	副主査	上林 佐智子
BSE 対策本部 043-223-3084	副主査	石原 裕介
	副主査	岡本 みさき
	主事	堀内 有史

■担い手支援課

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
FAX: 043-201-2615

部署・TEL	職名	氏名
043-223-2900	課長	石井 克文
農業経営支援班	班長	佐久間 真由子
専門普及指導室 043-223-2912	副技監兼室長	市原 重信
	上席普及指導員	有路 優子

■中央家畜保健衛生所

〒262-0011 千葉市花見川区三角町 656
TEL: 043-250-4141 FAX: 043-236-0090

部署	職名	氏名
	所長	青木 ふき乃
	次長	石原 勇人
	主幹	櫻井 紀夫
庶務課	課長	岡崎 晃士
	主査	渡邊 なな
衛生指導課	課長	猪俣 一陽
	専門員	本多 芙友子
	主任技師	渡邊 世奈
	主任技師	中村 みどり
防疫課	課長事務取扱	石原 勇人
	主任技師	松原 芳絵
	主任技師	不破 友介
	技師	角田 千春

〒285-0072 佐倉市岩富町 497

TEL: 043-498-1431 FAX: 043-498-1475

部署	職名	氏名
病理生化学課	次長	松本 敦子
	課長	渡邊 和彦
	上席専門員	綿村 崇宏
	専門員	小林 大誠
	専門員	小山 祐介
細菌ウイルス課	技師	島田 果歩
	課長	大坪 岳彦
	上席専門員	西川 潤
	専門員	三浦 良彰
	専門員	橘 美奈子
	主任技師	倉橋 浩一
	技師	大矢 美帆

■東部家畜保健衛生所

〒283-0064 東金市川場 1105-3

TEL: 0475-52-4101 FAX: 0475-52-3335

部署	職名	氏名
	所長	江森 美香
	次長	古屋 聡子
	主幹	平畠 淳
衛生指導課	課長	片山 雅一
	副主査	関 順子
	専門員	佐多 美香
	専門員	菅 賢明
	主任技師	佐々田 由美子
	主任技師	岩間 亮祐
	技師	醍醐 由香里
	課長事務取扱	古屋 聡子
防疫課	上席専門員	塚原 涼子
	専門員	末政 奈津美
	専門員	細野 真司
	主任技師	中橋 冬陽
	技師	志賀 彩加

令和4年度 千葉県畜産関係機関一覧表②

■南部家畜保健衛生所

〒296-0033 鴨川市八色 52
TEL:04-7092-2304 FAX:04-7092-1434

部署	職名	氏名
	所長	市沢 三香
	次長	江森 格
衛生指導課	課長	石川 直子
	主査	平川 智子
	専門員	佐藤 沙樹
	主任技師	小高 宏貴
	技師	土肥 世生
	技師	阿部 久瑠美
防疫課	課長	田中 なほ子
	専門員	矢嶋 真二
	技師	高貴 秀幸
	技師	山口 敦子
	技師	後藤 花菜

■北部家畜保健衛生所

〒287-0004 香取市岩ヶ崎台 12-1
TEL:0478-54-1291 FAX:0478-54-5996

部署	職名	氏名
	所長	小川 明宏
	次長	木下 智秀
	主幹	小島 洋一
衛生指導課	課長	千葉 耕司
	副主幹	成毛 弥生
	副主幹	武石 佳夫
	上席専門員	新居 友明
	専門員	中山 雄大
	主任技師	畑中 ちひろ
	技師	高梨 優希
防疫課	課長事務取扱	木下 智秀
	副主幹	森田 秀雄
	専門員	阿部 敬
	専門員	中島 有美子
	主任技師	山本 友裕
	技師	齋藤 瞬
	技師	平木 崇

■畜産総合研究センター

〒289-1113 八街市八街へ 16-1
TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447

部署	職名	氏名
	センター長	井出 基雄
	次長(事)	羽生田 和正
	次長(技)	市原 裕二
総務課	課長事務取扱	羽生田 和正
	副主幹	川本 一俊
	主事	柴田 静
	主事	佐藤 和希
	主事	丸山 智恵子

部署	職名	氏名
企画環境研究室	室長	齊藤 健一
	主任上席研究員	鈴木 一好
	上席研究員	松本 友紀子
	上席研究員	中代 浩之
	上席研究員	長谷川 輝明
	研究員	中山 妙子
	研究員	山崎 藍子
	研究員	小野寺 道寛
乳牛肉牛研究室	室長	大塚 洋功
	主任上席研究員	川嶋 賢二
	上席研究員	倉地 充
	研究員	行川 貴浩
	研究員	犬飼 愛
	研究員	三根 琴美
	研究員	本間 智尋
	研究員	石井 亮一
養豚養鶏研究室	室長	山口 倫子
	上席研究員	関野 友利華
	上席研究員	萩原 妙子
	研究員	松本 千明
	研究員	小形 次人
	研究員	田中 航輝

■畜産総合研究センター 市原乳牛研究所

〒290-0531 市原市国本 602

TEL・FAX	職名	氏名
TEL: 0436-96-1231 FAX: 0436-96-0956	所長	永福 和明
	主幹	平尾 明
	主任上席研究員	青木 大輔
	研究員	久保田 尚
	研究員	吉田 早希
	副主査	高柴 正和
	研究員	杉本 卓翔
	研究員	村田 遥夏

■畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所

〒299-2507 南房総市大井 686

TEL・FAX	職名	氏名
TEL: 0470-46-3011 FAX: 0470-46-3012	所長	森 知夫
	主査	佐久間 ひろみ
	研究員	関根 大介
	研究員	福井 陽士
	研究員	斎藤 孝太郎
	研究員	山本 啓悟

令和４年度 千葉県畜産関係機関一覧表③

■千葉農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒266-0014 千葉市緑区大金沢町 473-2	副主幹	杉本 清美	043-300-1985	043-293-3916
改良普及課		主任上席普及指導員	原 浩文	043-300-0950	043-293-2710
		普及技術員	山下 瀬里奈		

■東葛飾農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒277-0861 柏市高田 990-1	副主査	君塚 時江	04-7143-4122	04-7144-8260
改良普及課	〒277-0005 柏市柏 255-1	主任上席普及指導員	渡辺 博剛	04-7162-6151	04-7162-6154

■印旛農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒285-0026 佐倉市鎗木仲田町 8-1	主査	伊藤 香葉	043-483-1129	043-485-9502
		副主査	高田 まどか		
改良普及課		主任上席普及指導員	伊藤 静雄	043-483-1124	043-485-9502
		普及指導員	岸田 雅弘	043-483-1128	

■香取農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒287-0003 香取市佐原イ 92-11	副主幹	小林 正和	0478-52-9192	0478-54-5617
改良普及課		副主査	名取 美貴		
		普及指導員	綿貫 俊貴	0478-52-9195	0478-55-1703
		普及指導員	谷本 智里		

■海匝農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒289-2504 旭市二 1997-1	副主査	阿部倉 緑	0479-62-0156	0479-64-2502
		技師	櫻沢 実奈		
改良普及課		上席普及指導員	村中 洋美	0479-62-0334	0479-62-4482
		普及技術員	熱田 麻衣		

■山武農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒283-0006 東金市東新宿 17-6	主査	柴田 るり子	0475-54-1122	0475-55-8614
		技師	寺崎 亮太		
改良普及課	〒283-0005 東金市田間 2-14-2	普及指導員	花本 威士	0475-54-0226	0475-52-7914

■長生農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒297-0026 茂原市茂原 1102-1	副主査	羽深 真里	0475-22-1751	0475-26-2234
改良普及課		普及指導員	中原 祐樹	0475-22-1771	0475-25-2061

■夷隅農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒298-0212 夷隅郡大多喜町猿稻 14	技師	時田 瞳	0470-82-4956	0470-82-5348
改良普及課		普及技術員	後藤 衛	0470-82-2213	0470-82-3975

令和4年度 千葉県畜産関係機関一覧表④

■安房農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒294-0045 館山市北条 402-1	技師	堀口 聖也	0470-22-7131	0470-22-0097
		技師	井出 深		
改良普及課		GL	金子 貴一	0470-22-8132	0470-22-0097
		上席普及指導員	新垣 裕子		
		普及技術員	中橋 春香		

■君津農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒292-0833 木更津市貝淵 3-13-34	主査	小林 夏奈子	0438-25-0107	0438-23-6698
改良普及課		GL	渡邊 健一郎	0438-23-0299	0438-23-6698
		普及指導員	加藤 久美子		

肉用子牛生産者補給金制度に係る保証基準価格等について

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としております。（総務・企画部 武田）

◆ 肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格

（単位：円／頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000

◆ 生産者積立金・負担金

（単位：円／頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
生産者積立金	1,600	6,000	18,800	6,800	3,200
負担内訳（割合）					
国（機構）（1/2）	800	3,000	9,400	3,400	1,600
県（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800
生産者（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800

◆ 発動状況

（単位：円／頭）

区分	3年度第1四半期 （令和3年4-6月）	3年度第2四半期 （令和3年7-9月）	3年度第3四半期 （令和3年10-12月）	3年度第4四半期 （令和4年1-3月）
その他の肉専用種	—	—	—	8,200

※「その他の肉専用種」（日本短角種等）については、令和2年度から算定期間を1年（4月～3月）としている。

◆ その他

令和4年度は個人経営を中心に現地調査を行いますので、ご準備・ご協力をお願いいたします。

酪農家・肉用牛農家の皆様へ ・牛の出生や異動の**届出は、速やか、かつ正確に行いましょう!!**

牛トレーサビリティ制度に
 関するお問い合わせは…

・関東農政局 消費・安全部 水産安全管理課 TEL:048-600-0600
 ・関東農政局 千葉支局 牛トレーサビリティ110番 TEL:043-380-0778

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

本制度はTPP11の発行により法制化され実施されています。肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、差額分の9割が交付されます。肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に加入して経営の安定を図りましょう。（総務・企画部 武田）

◆ 交付金の交付状況

令和4年度第3四半期（令和3年10～12月）及び第4四半期（令和4年1～3月）において、下記のとおり交付されております。

【令和3年10月～令和4年3月販売分の交付金単価（確定値）】

（単位：円／頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C)=(A)-(B)	交付金単価 (D)= (C) ×0.9
令和3年 10月	肉専用種	1,222,088	1,125,276	96,812	-
	交雑種	695,474	715,156	△19,682	17,713.8
	乳用種	455,320	479,927	△24,607	22,146.3
令和3年 11月	肉専用種	1,262,352	1,126,097	136,255	-
	交雑種	699,695	699,182	513	-
	乳用種	456,777	493,481	△36,704	33,033.6
令和3年 12月	肉専用種	1,322,805	1,126,992	195,813	-
	交雑種	735,312	699,539	35,773	-
	乳用種	455,972	500,884	△44,912	40,420.8
令和4年 1月	肉専用種	1,211,272	1,067,309	143,963	-
	交雑種	711,650	700,086	11,564	-
	乳用種	452,170	508,054	△55,884	50,295.6
令和4年 2月	肉専用種	1,171,903	1,069,886	102,017	-
	交雑種	687,377	701,288	△13,911	12,519.9
	乳用種	447,817	504,544	△56,727	51,054.3
令和4年 3月	肉専用種	1,216,992	1,072,554	144,438	-
	交雑種	718,076	697,084	20,992	-
	乳用種	444,221	500,050	△55,829	50,246.1

注：交付金は1円単位で交付となります。

◆ 令和4年度の登録肉用牛1頭当たりの負担金単価

令和4年度の登録肉用牛1頭当たりの負担金単価が下記のとおり公表されました。

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種
負担金単価	14,000 円/頭	19,000 円/頭	19,000 円/頭

注：肉専用種においては、千葉県の実負担金単価。（交雑種及び乳用種は全国一律）

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
http://www.morikubo.co.jp



第12回全国和牛能力共進会への出品準備状況

今回は10月に鹿児島で開催される第12回全国和牛能力共進会（全共）に向けた県内の取組みについて、前号に引き続き御紹介いたします。

出品候補者同士での農場視察（R4.2.3～4）

県内の出品候補者6名同士で農場視察を行い、日頃の飼養管理やそれぞれの取組みについて紹介し、出品に向けお互いに意見交換等を行いました。24か月の早期肥育というほぼ初めての取組みに対して、実際に牛を見ながら話すことでとても有意義な視察となりました。



出品候補者紹介

県内6名の農家さんが肉牛部門への出品に向けて取り組んでいます！また、生産者でありながら自ら実行委員会で出品に向けて準備を進める等、一丸となって取り組んでいます！

会長 井村 幸雄（成田市） 小柴 均（南房総市）
副会長 宮澤 武志（旭市） 大川 修一（佐倉市）
副会長 岩淵 義徳（旭市） 高梨 裕一（鴨川市）

出品に向けたPR（R4.4.12）

4月12日に行われた県産子牛セリ市にて、和牛生産者向けに全共出品のPRを行い応援を呼びかけました。当日は千葉県家畜市場内にPRブースを設置し、実行委員会メンバーを中心にPRグッズの配布を行ったほか、種牛の出品を行う安房拓心高校の高校生向けに品評会で種牛の見方について講習会が開催されました。

最後に、セリ前に実行委員会の井村会長及び高校生の代表からセリ参加者に向けて応援を呼びかけ、PR活動を終わりました。



出品牛選抜日の決定（R4.7.21開催）



千葉県から全共へ出品する牛の最終選抜を7月21日（木）に開催することが決定いたしました。千葉県では候補牛の頭数が肉牛で約30頭、種牛で2頭ですが、このうちから肉牛2頭、種牛1頭が最終選抜で選定されます。選抜はそれぞれの農場を審査員が巡回し、審査する巡回方式で行います。いよいよ佳境ですが事故無く順調に全頭が選抜を迎えられるよう、生産者一同取り組んでいきます。

お問合せ先：全国和牛能力共進会千葉県実行委員会事務局（千葉県肉牛生産農業協同組合）
TEL:043-233-5657 FAX:043-233-0228



チバザビーフ協議会報

チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています



◆枝肉品評会 (R4.2.16)

東京都中央卸売市場食肉市場において、第12回となる枝肉共励会を開催いたしました。

なお、今回も実施内容は枝肉審査及び枝肉のセリ販売のみとし、当日の審査講評及び褒章授与式は中止としております。(結果のみ後日送付。)

■ 出品区分及び頭数

黒毛和種 49頭(去勢36頭、雌13頭)

交雑種 31頭(去勢23頭、雌8頭) 計 80頭

■ 黒毛和種の部

(単位: kg・円)

受賞	生産者名称	性別	枝肉重量	枝肉単価	枝肉金額	褒賞
最優秀賞	(株)高梨牧場	去勢	528	2,758	1,456,224	農林水産大臣賞 千葉県知事賞 公益社団法人千葉県畜産協会会長賞
優秀賞 1 席	合同会社諸川牧場	去勢	569	2,675	1,522,075	東京都中央卸売市場 市場長賞 東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞 2 席	(株)しあわせ牛	去勢	666	2,480	1,651,680	公益社団法人日本食肉格付協会会長賞
優良賞 1 席	(株)大川畜産	去勢	653	2,513	1,640,989	千葉県家畜商協同組合 理事長賞
優良賞 2 席	齋藤 茂樹	去勢	538	2,415	1,299,270	千葉県肉牛生産農業協同組合会長賞

[総評](審査講評抜粋)

雌、去勢ともに重量豊かで枝肉の形やバランスが良好。全ての枝肉で歩留「A」であり、特に雌の「ロース芯面積」の平均が70cm²を超えており、東京食肉市場で開催される数多ある共進会の中でも上位に位置する成績。しかし、ロース芯の変形(ハート芯)や筋間脂肪の厚い枝肉も極僅か見られ、対策が必要。肉質は、「好ましい食味」を想像させる優れたものが多く、高い評価。一方、瑕疵の発生が49頭中12頭に表示。飼養管理等で防げる瑕疵は対応をお願いします。

■ 交雑種の部

(単位: kg・円)

受賞	生産者名称	性別	枝肉重量	枝肉単価	枝肉金額	褒賞
最優秀賞	(株)宇井畜産	雌	556	2,000	1,112,000	関東農政局長賞 千葉県知事賞 公益社団法人千葉県畜産協会会長賞
優秀賞 1 席	合同会社小池牧場	去勢	560	1,747	978,320	東京都中央卸売市場 食肉市場長賞 東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞 2 席	齋藤 茂樹	去勢	678	1,531	1,038,018	全国畜産農業協同組合連合会会長賞
優良賞 1 席	(株)イワイ牧場	雌	550	1,516	833,800	全国農業協同組合連合会 千葉県本部長賞
優良賞 2 席	(株)糸賀牧場	雌	527	1,748	921,196	千葉県と畜場協会 会長賞

[総評](審査講評抜粋)

雌のロース芯面積の平均が73.1cm²であり、黒毛和種と同様で稀に見る好結果。しかし、皮下脂肪平均が3.8cmと厚く、腰脂や筋間脂肪の厚い枝肉も見られた。去勢の枝肉は歩留基準値(平均70.2)からも、雌に比べやや厚みに物足りなさを感じた。肉質は、雌枝肉の場合、肉質「4」以上率が70%を超える素晴らしい成績。脂肪質も「5」等級の枝肉が多くを占める。去勢は雌に比べて、BMSNo.の平均や「光沢」「締まり」の評価が低く、その結果、肉質「2」等級の発生率が高く、脂肪の質も「5」等級の割合が低い結果。脂肪の質は価格に影響が出るので対策が必要。

◆活動状況報告

☆新しいPRポスターが出来ました！

チバザビーフPR大使を務めるCCC（ちばかわい
いくらぶ）モデルを起用した新たなPRポスターが出来
ました。今後、チバザビーフ取扱店等でも順次掲示
予定で、他にも様々な場所・イベント等でのPR活動
に活用していきます。

「とろける恋の予感」Model：晴菜

「差がつく赤の誘惑」Model：椎名 ゆり



☆第12回全国和牛能力共進会の出品に向けた県内PR【千葉県家畜市場（千葉市）】（R4.4.12）

県産子牛セリ市にて、和牛生産者向けに全共出品のPR活動を行い応援を呼びかけました。

当日は千葉県家畜市場内にPRブースを設置し、出品記念グッズの配布を行いました。

なお、6月12日（日）、8月2日（火）の県産子牛セリ市でも同様に行う予定で、10月の本
開催に向けチバザビーフとしてPR活動を実施していきます。

☆音街かしわ【柏駅東口ダブルデッキ（柏市）】（R4.5.3）



「音楽の街かしわ」の音楽フェスイベント。
チバザビーフPR大使を務める「CCC（ちば
かわいいくらぶ）」の音楽プロデューサーでも
あるパッパラー河合さん（爆風スランプ ギタリ
スト）にチバザビーフの新しいデザインのPR
ユニフォームを提供し、県産牛肉のPRを図り
ました。（MCやマスコットキャラクター等
にも着用いただきました。）

こちらの新ユニフォームも今後のイベント等
でのPR活動に活用していきます。

▼ イベント情報等詳細はこちらから！ <http://chibathebeef.jp/>



（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 5

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：畜産の最新研究・技術を見る／豚の肉質を中心
とした育種改良技術／鶏肉特集第1弾江戸文化
を受け継ぐ東京しゃもを大特集！／他



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



（公社）中央畜産会 経営支援部（情報） TEL03-6206-0846

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

I 令和4年度第1回役員会の開催

令和4年5月10日（火）、公益社団法人千葉県畜産協会・会議室に於いて千葉県農林水産部畜産課 藤野主幹、千葉県畜産協会 富田事業部長の来賓出席のもと、役員11名の出席を得て今年度第1回役員会が開催されました。

主な協議事項等は、①令和3年度事業実績及び4年度事業計画、②令和4年度総会開催と提出議案、③畜産研修会について協議しました。以下ご説明します。

1. 令和3年度の主な事業実績【令和4年度計画】

（1）農場HACCP構築指導（令和元年度～3年度）

本事業は（公社）千葉県畜産協会からの依頼に基づき農場HACCP認証及び維持を希望する農場へ指導員を派遣し、構築や内部検証等の指導・支援を行うもので、昨年度に引き続き県内畜産農家へ指導・支援に努めました。

・県内構築指導34農場、維持支援38農場 計72農場

【4年度新規：事業規模・内容はほぼ同様で令和4年度から令和6年度までの事業です。

畜産農場に対し認証に向け更なる構築及び維持向上の指導を促進します。】

（2）死亡牛等の受入及び保管等補助業務受託

本事業は千葉県の公募事業で、中央家畜保健衛生所（佐倉）で実施している死亡牛等（96か月以上の死亡牛）の受入及び保管等の業務を補助する内容で、平成27年8月中旬から取り組んでいます。

【4年度：4名、186日（計画）】

（3）JGAP認証構築指導支援

県畜産課及び千葉県畜産協会の要請に基づき希望農場へ農業事務所等と構築支援する体制をとっていましたが新たに希望する農場はありませんでした。

【4年度：県、農場から要望があれば積極的に推進します。】

（4）堆肥舎等長寿命化推進事業（畜産経営における排水実態調査中央畜産会委託事業）

本事業は畜舎の排水基準が強化される中で、農場の実態を把握するとともに汚水処理の専門性の高い技術を簡易化する方法を検討し、改善している努力を関係機等へPRする内容です。

令和2年度に引き続き3養豚場の排水の採材調査に協力しました。調査結果はどの農場も新しい排水基準でも対応可能でしたが冬場や、大量の水を使用した場合一部影響がある農場が窺えました。

【4年度：中央畜産会から要望があれば積極的に推進します。】

（5）外国人研修生等を対象とした衛生研修会の開催

本事業は千葉県畜産協会単独事業による外国人研修生等を対象とした衛生研修会の開催（生産農場衛生対策緊急強化事業）です。

飼養衛生管理基準が大きく変わったなか、東部家畜保健衛生所や関係者の協力を得てパンフレットを作成し希望する農場に対して研修会の開催に協力しました。

ア パンフレットの作成・印刷：英語、タガログ語、ベトナム語 計200部

イ 研修会の開催：養豚農場（5農場、延べ44名受講）

【令和4年度：外国人研修生等を対象とした衛生研修会の開催（出前研修）】

2. 令和4年度総会・畜産研修会の開催について

昨今のコロナ蔓延の中、3年間総会畜産研修会が開催できない状況でしたが、幸いにも3回目のコロナワクチン接種も順調に進んでいる状況になりましたので、対面式の総会・研修会を開催することに役員会で決定しました。皆様方に於かれましては是非参加くださいますようお願い申し上げます。

令和4年度総会及び第1回畜産研修会のお知らせ

日 時：令和4年6月14日（火）〔総会〕13時30分～

〔畜産研修会〕14時30分～

場 所：千葉市生涯学習センター地下1階「小ホール」

千葉市中央区弁天3丁目7-7 電話：043-207-5811

議 事：第1号議案 令和3年度事業報告並びに収支決算報告の承認について

第2号議案 令和4年度事業計画（案）並びに令和4年度収支予算（案）の承認について

第3号議案 会費の額及び納入日について

演題1：「県内で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応について」

（講師）千葉県農林水産部畜産課 家畜衛生室 主幹 笠井 史子 様

演題2：「農場HACCP認証制度のスタートアップー取り組み課題と対応の足跡ー」

（講師）元農林水産省衛生課長

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター 副理事長 宮島 成郎 様

Ⅱ 会員状況 現会員数：80名（内訳 個人65名、団体12団体、賛助3団体）
令和3年度新規加入：個人会員1名

◎入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

お問い合わせ：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（千葉県畜産協会内）

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

海外技能人実習生向け衛生研修（出前講座）をはじめました！

- 農場で伝染病を発生・拡大させるな -

畜産協会では、農場で実際に作業する外国人研修生向け、家畜衛生実践講座を開設しました。

（通訳付き）

農場で作業に必要な家畜衛生の知識と伝染病発生・拡大させない作業ポイントを解説する実践的な講座となっています。

少人数でも構いませんので、希望される農場は下記までに連絡を下さい。



（R3.4.28）海外技能人実習生を対象とした研修会

お問い合わせ：公益社団法人千葉県畜産協会 衛生指導課まで

TEL：043-241-1738



1. 豚熱対策で地元選出国會議員へ要請 2022/3/17

昨年12月、関東8県の養豚生産者団体で組織する関東養豚協議会で決議した「豚熱に関する要望」の内容について、下記の3項目について説明し、地元選出国會議員へ要請いたしました。

また、豚熱は法定伝染病であり、ワクチン接種については、法改正が必要なことから時限立法による対応の可能性について指導を求めました。

ワクチン接種・方法の対応

- ① 薬機法に基づく用法・用量の改正によるワクチン2回接種などの複数回接種の実施。
- ② ワクチンの空白期間をなくするため毎週ワクチン接種できる体制を構築。
- ③ 免疫付与状況検査体制の強化と実施。

野生イノシシ対策

- ① 野生イノシシの徹底的な駆除。
- ② 経口ワクチンの効果的散布。
- ③ 国産経口ワクチンの早期開発。

殺処分に伴う処置対応

移動式レンダリング装置の設置と活用。

2. 配合飼料価格高騰に対する支援要請 2022/4/13

昨年からの配合飼料の高騰により、大変厳しい経営状況に置かれていることから、ナイスポークとして県知事に対する支援要請書を畜産課長に対し提出し、合わせて農林水産部長との面談に際し、状況の報告と支援をお願いしました。



配合飼料価格高騰に対する支援要請

常日頃、本県養豚振興に対し特段のご指導、ご支援を賜り厚謝申し上げます。

千葉県は、三方海に囲まれ、冬暖かく夏涼しい海洋性の温暖な気候であることから農畜産業が盛んで、中でも養豚における産出額は、令和3年12月24日の公表では、全国5位と千葉県民へ畜産物の安定供給に大きく貢献しています。

しかしながら、生産費の多くを占める飼料価格が、令和3年から値上がりし、その後に高騰が続き、1年前に比べ1万2千円/t以上も値上がりしています。

さらに、4月からは4千円以上の値上がり見込まれ、原料となるととうもろこしや大豆粕などの作況や世界的な需給状況、海上運賃の値上がり、円安に加えウクライナ情勢などを考慮すれば、今後、飼料価格の高止まりが続くのは間違いないものと予想されます。

県内生産者は、生産コストの低減に努力するものの、高騰する飼料価格を畜産物の販売価格に転嫁しきれず、経営維持は大変厳しい状況となっております。

もし、この状況が長期化すれば、現在のセーフティネットである「配合飼料価格安定基金制度」だけでは、廃業に追いこまれかねません。

ついては、国の制度に加え、県においても、緊急対策として支援金の交付などの検討・実施をお願い申し上げます。

令和4年4月13日 ナイスポークチバ推進協議会 会長 青柳 耕一

チバザポーク便り

チバザポーク販売推進協議会



☆抽選でチバザポークも当たる房総グルメフェア2022が開催されました！

房総ジビエや千葉県産食材を使った多彩なデリバリー・テイクアウトメニューが提供される房総グルメフェア2022が開催されました。また、抽選で総計140名様に千葉の食材や逸品が当たるプレゼントキャンペーンも実施され、B賞としてチバザポーク加工品ギフトセットが25名様に贈られました。



- 開催期間: 令和4年1月24日(月)～2月28日(月)
- 参加店舗: 78店舗(千葉県内及び東京都内)
- 賞品 A賞: 房州産天然活イセエビ(10名様) B賞: 「チバザポーク」加工品ギフトセット(25名様)
- C賞: 房総ジビエ加工品セット(25名様) D賞: 千葉県育成いちご品種チーバベリー(25名様)
- E賞: 米粉バウムクーヘン「純米バウム」(25名様) Wチャンス: チーバくんランチトート(非売品)(30名様)

☆旭食肉協同組合直売所がイオンタウン旭店内にオープン！



令和4年4月23日(土)イオンタウン旭店が開業、店舗内に千葉県産いも豚を取り扱う旭食肉協同組合が直売所をオープンしました。

惣菜、ハム・ソーセージなどの加工品を製造販売しています。

近くへお越しの際は是非お立ち寄りください。

- 所在地: イオンタウン旭1F 千葉県旭市イ4337-1
- 営業時間: 10:00～20:00 年中無休

▼ イベント情報等詳細はこちらから！ <https://chibathepork.jp/>



養豚業・養鶏業を営む
経営者の皆様へ

**補助事業・交付金・制度資金の利用に当たり、
飼養衛生管理基準の遵守が要件となりました。**

<ポイント>

- 飼養衛生管理基準の順守状況を確認するため、補助事業・交付金・制度資金の一部では、申請の際に「飼養衛生管理基準遵守状況確認書」の提出が必要となります。
- 飼養衛生管理基準の不遵守がある場合は、改善すべき事項、具体的な改善方法及び改善すべき期限を明確化した改善方針が必要です。

注) 国内の疾病発生状況等を踏まえ、豚、いのしし、鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥又は七面鳥の所有者が対象です。
(牛、水牛、めん羊、山羊又は馬は、当面の間は対象外)

<飼養衛生管理基準遵守状況確認書を入手するには>

- 飼養衛生管理基準遵守状況確認書が必要となる補助事業・交付金・制度資金を利用する農場については、管轄の家畜保健衛生所に交付申請書を提出してください。
- 事業・交付金・制度資金の担当者から申請があった場合は、家畜の所有者に事実確認をする場合があります。

飼料高騰に対する緊急要請活動の状況

1. 千葉県畜産関係団体合同による配合飼料価格高騰に対する支援要請 2022/4/15

（公社）千葉県畜産協会が中心となり、会員である8団体連盟による要請書を千葉県知事並びに自民党県議会議員会畜産振興議員連盟 實川会長へ提出しました。

要請に参加した団体は、（一社）千葉県配合飼料価格安定基金協会 伊藤理事長、チバザビーフ協議会 宮澤会長、（一社）千葉県農業協会養鶏部会 元木部会長、ナイスポークチバ推進協議会 青柳会長、及び事務局の5名で対応いたしました。

県知事宛ての要請書は、畜産課へ、自民党県議会畜産議連へは實川会長へ直接手渡され、各団体から厳しい状況報告と生産者が生き残れる対策を強く求めました。



2. 飼料高騰に関する県知事との意見交換会開催 2022/4/28

熊谷千葉県知事との飼料高騰に関する意見交換会が、自民党県議会議員会畜産振興議員連盟 實川会長の計らいにより実現しました。

県から熊谷知事、館野農林水産部長、大澤畜産課長、生産者団体から県酪連高橋会長、県肉牛生産農協渡辺会長、県農業協会元木養鶏部会長、ナイスポーク青柳会長、チバザビーフ宮澤会長の5団体代表と（公社）県畜産協会、ナイスポーク事務局の7名が参加いたしました。

また、オブザーバーとして自民党畜産議連實川会長、阿井副会長、石橋・鶴岡各幹事に同席していただきました。



**「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを
改めて認識してください。**

**地方競馬の収益金は
畜産の振興に
役立てられています。**



部 署		T E L	F A X
総務・企画部	総 務 課	043-242-5417(代)	043-238-1255
	企 画 課	043-242-6333	
事 業 部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生 産 課	043-241-3851	

Eメール：info@chiba.lin.gr.jp

U R L http://chiba.lin.gr.jp